

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		公平委員会運営事務					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	060401000747
		単独/補助					単独	単独	所属課	020101 総務課
政策体系	総合計画の施策名	0604 組織経営と人事マネジメントの充実							課長名	
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり							グループ	総務グループ
	施策名	04 組織経営と人事マネジメントの充実							担当者名	
	手段名	01 ①職員の資質向上と人材育成								
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度~)	
	01	02	01	12	01	00	公平委員会事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠	地方自治法第180条の5第1項・第252条の7、地方公務員法第7条第3項・第4項									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>【内容】</p> <p>地方公務員法第7条第4項に基づき、桜川市と筑北環境衛生組合で共同設置しており、職員の給与、勤務時間、その他勤務条件に関する措置の要求があった時は審査・判定をして必要な措置を講ずる。また、職員の苦情処理、共同設置団体からの負担金徴収、会議開催等がある。公平委員は議会の同意を得て市長が選任する非常勤特別職で任期は4年。3人の委員により構成されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員からの措置要求・不服申し立て受付→審査→決定 共同設置団体への予算措置通知→請求書送付→負担金徴収 各加入連合会への負担の支払い 各加入連合会の総会等への出席

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・職員からの措置要求・不服申し立て受付→審査→決定 ・共同設置団体への予算措置通知→請求書送付→負担金徴収	公平委員会会議回数	回	5.00	1.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			人	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
桜川市等公平委員会に加入する職員	公平委員	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	桜川市職員	人	405.00	401.00	391.00	391.00	391.00
	ほか一部事務組合等職員	人	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
・職員の勤務条件に対し、必要な勧告を行う。 ・職員に対する不利益な処分、不服申し立てを審査、裁決する。	勤務条件に関する不服届件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	職員の不利益処分申立て件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他相談件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
県支出金	千円	0	0	0				
地方債	千円	0	0	0				
使用料・手数料	千円	0	0	0				
その他	千円	19	28	28				
一般財源	千円	343	1,195	4,876				
事業費計(A)	千円	362	1,223	4,904				
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	301		01 報酬	2,462	
03 職員手当等	119		03 職員手当等	1,583		
08 旅費	461		08 旅費	524		
10 需用費	47		10 需用費	47		
12 委託料	165		12 委託料	165		
13 使用料及び賃借料	11		13 使用料及び賃借料	11		
18 負担金補助及び交付金	119		18 負担金補助及び交付金	112		
			合計	1,223	合計	4,904

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	・措置要求・不服申し立て受付→審査→決定 ・共同設置団体へ予算措置通知→請求書送付→負担金徴収 ・各加入連合会へ負担金の支払い ・各加入連合会の総会等への出席	・措置要求・不服申し立て受付→審査→決定 ・共同設置団体へ予算措置通知→請求書送付→負担金徴収 ・各加入連合会へ負担金の支払い ・各加入連合会の総会等への出席	・措置要求・不服申し立て受付→審査→決定 ・共同設置団体へ予算措置通知→請求書送付→負担金徴収 ・各加入連合会へ負担金の支払い ・各加入連合会の総会等への出席

	・合加入連云の輪云寺に出席 ・全国公平委員会連合会事務局業務	・合加入連云の輪云寺に出席 ・全国公平委員会連合会事務局業務	・合加入連云の輪云寺に出席		
事務事業名	公平委員会運営事務	事務事業No.	60401000747	所属課	総務課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?					
<ul style="list-style-type: none"> 平成13年に閣議決定された「公務員制度改革大綱」により、公務員に対し信頼の低下、前例踏襲主義、コスト、サービス意識の欠如等厳しい指摘がある。新たな公務員制度改革に移行するために、現実の運用・問題点をどのように対処したらよいか考えなければならない。 平成25年度より、公平委員会事務局が総務課内に設置され、事務局は兼任となっている。 					
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?					
<ul style="list-style-type: none"> 公務員に対する服務規律の遵守の徹底と、不祥事が発生した場合の懲戒処分等、厳正に対応することを求められている。 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 職員の公平、かつ公正な評価を行うことは、行政組織の適正化、職員の資質向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 職員の公平、かつ公正な評価を行うことなので、市で行うことは妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 不利益処分や不服申し立てが出ていないので、成果向上の余地はない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 職員の利益の保護が図られなくなる。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 公平委員会は、準司法的作用を行う行政機関で、職員の利益と保護並びに公平な人事権の行使を保証するため、市長・その他任命権者から拘束されない独立した機関である。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 公平委員3名分の報酬と各連合会負担金が主なものであるため、削減の余地はない。
効率性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 構成団体の全職員が対象となるため、公平公正である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒	・各審査にあたっては今後も公平の見地から慎重な対応が求められる。 ・今年度は茨城県公平委員会連合会事務局を担任した。 ・令和6年10月から令和8年10月までの期間、全国公平委員会連合会の事務局を担任予定。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → ■ 現状維持 (<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>